

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
 発行者 角田 美枝子

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル 2F
 電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

令和八年度の総会・会員研修会・懇親会が、盛会裏に終了いたしました。

本会は令和七年度の事務所移転等を通して、財政安定化への道筋をつけることができました。ひとえに会員の皆様のご理解とご協力によるものと心から感謝申し上げます。

本会の令和八年度の課題は、「会員の増強」です。

会員増強の解決策の一つとして、各支部の活動を、目に見える形にして、会員のみなならず外部に、特



存在感のある東京都退職校長会を目指して 支部の発展は本会発展の礎 東京都退職校長会 会長 角田 美枝子

に新入会員対象者に発信していくことが大切だと思います。一人でも多くの方に、支部の魅力を伝え、入会していただけるよう、会員の皆様と力を合わせてまいりたいと思います。

なお、令和五年度から役職定年制が施行されましたが、本会には毎年、特例任用校長、暫定再任用校長等、現職の方が何人も入会されています。この事実にも、希望と期待をもっております。

【支部総会は魅力全開】

今年度も三十三の支部から総会のご案内をいただきました。各支

部の圧巻の活動報告に感銘を受け、支部間交流の実施に感謝し、来賓の区長、教育長、室課長、幼・小・中の校園長会長等のご挨拶に、退職校長会に対する期待と応援の気持ちが溢れていることに感動しました。

懇親会では、和気あいあいとした支部の雰囲気会場いっぱいになり、一つになって盛り上がる場面に心を打たれました。

この感動を広く会員の皆様にお伝えしたいと思いました。支部の発展は本会発展の礎です。

本部は支部と会員の皆様のために全力を尽くして、存在感のある東京都退職校長会を目指してまいります。

【新たな教育寄与活動】

本会の目的である「教育への寄与」に、新たな活動が加わりました。二月に開催されました「東京都教育庁幹部との教育懇談会」において、教育庁グローバル人材育成部より、中学校英語スピーキングテストの「試験運営スタッフ」としての協力要請を受けました。

四月の支部長会では、堀内明課長と、早川裕之主任指導主事が、

「試験運営スタッフ」について詳しく説明してくださいました。この要請に、本会を挙げて協力したいと思います。

七月の支部長会では、都教委から届く「運営スタッフ募集要項」を、各支部の全会員分、配布いたします。

八月中旬から応募が開始されます。会員の皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年の夏も、猛暑が予想されます。会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

主な記事

- | | |
|--|--------------------|
| P1 巻頭言 会長挨拶 | P6 支部だより |
| P2 令和8年度 定期総会 | 新入会員の声 |
| P3 令和7年度主要事業報告 | 令和8年 春の叙勲受章会員 |
| 令和8年度主要事業計画 | 高齢者叙勲受章会員 |
| 「予算検討委員会」「教育検討プロジェクトチーム」「業務運営改善委員会」「会員増強プロジェクトチーム」 | P8 物故者 |
| P4 東京都退職校長会一般会計決算書 | 第2回会員研修会 |
| P5 東京都教育庁幹部との教育懇談会 | 応募コーナー |
| | 中学校英語スピーキングテストについて |
| | 編集後記 |

令和八年度 定期総会

日時 令和8年5月18日
午前11時 開会
会場 主婦会館プラザエフ

【定期総会概要】

令和八年度定期総会が、五月十八日（月）、四ツ谷駅前の主婦会館プラザエフにて開催されました。東京都教育庁指導推進部長伊東直晃様はじめ11名の来賓にご臨席賜り、会員86名の参加で行われました。

角田美枝子会長の挨拶、三名の来賓のご祝辞に続き、新入会員・長寿会員の紹介、功労会員への感謝状贈呈、栄誉会員紹介のセレモニーが行われました。

続いて野々山毅港支部長・梅津通郎武蔵野・三鷹支部長が議長を務め、令和七年度の会務報告、決算報告に続き、令和八年度の事業計画、予算案に関する審議が行われ、承認をされました。

最後に予算検討委員会桐谷澄男委員長、業務運営改善委員会宇津木順一委員長、教育研究プロジェクトチーム草野一紀委員長より各委員会の報告があり、会歌斉唱の後、閉会されました。（総務部担当副会長 赤坂寅夫）

定期総会の開催に寄せて

東京都教育庁

指導推進担当部長

伊東直晃
本会が長きにわたり、様々な活動に取り組み、東京都の教育の発展に貢献されておられることに、心より感謝申し上げます。

東京都教育委員会では、令和七年度から、デジタルとリアルの最適な組み合わせにより、都立高校の学びのあり方から見直す「次世代の学びの基盤プロジェクト」を開始しており、生徒の主体的に学ぶ姿勢を飛躍的に伸ばし、世界で生き抜く「自立した学習者」を育成する取組を進めています。

今年度からは、教員スキルアップの研究を結び付ける「教育イノベーション推進室」を教職員研修センターに設置し、「教員のスキルアップ・プロジェクト」を開始します。また、「学び続けて、成長し続ける教員」を育成するため、教員研修の改善や研修環境の整備に取り組みます。

今後、東京都における教育の更なる充実に御協力賜りますようお願い申し上げます。

全国連合退職校長会

会長 田中昭光

本日、皆様がお集まりになり総会が実施できますこと嬉しく存じております。

私は立场上、北海道から九州まで、それぞれの地区の集まりに参加しています。

文部科学省や新聞を通して、教育問題がいろいろ話題になります。学校現場で汗を流して子供たちを育ててきた経験を通して、現実の学校教育のあり方を見てくることは大変勉強になっています。

皆様も、地域も含め学校現場を訪ねられたらと思います。

我々OBとして学校に伺います。子供たちの活動を見て、その印象を先生に伝えます。評価されると、先生方は非常に勇気を持ちます。先生方が汗を流して、子供の教育に力を注いでいる点に敬意を表することが大切です。

OBの立場を利用して現在の教育活動を支援する意味で力を発揮いただければと思っています。

東京都公立小学校長会

会長代理 坂西圭子

本日、東京都退職校長会第七十三回定期総会が、盛大に開催されますこと心よりお祝い申し上げます。

現在、学校教育は大きな変革の中にありますが、いつの時代も人材育成の原点は、先輩が「生き生きと経営に向き合う姿」を後輩に示すことにあると確信しております。

かつて私が校長選考の際、女性管理職を増やす策を問われ、「私が元気に働く姿を見せることです」と真っ直ぐに答えました。あれから時が経ち、今、皆様という偉大な先輩方の背中を仰ぎ見ながら、その言葉の真意と責任を、改めて深く深く噛み締めております。

皆様から受け継がれた「校長としての知恵」を次代へ紡ぎ、魅力ある学校を創り上げる決意です。

皆様のご健勝を祈念いたし、祝辞といたします。

令和七年度主要事業報告

【活動の重点】

- ① 5校種の現職校・園長会との連携による新入会員増加。
- ② 事務所の5階から2階への移転による事務所費の大幅軽減等による財政安定化にむけての方策の推進。
- ③ 各区市の学習支援員等に関する情報を調査し、活動事例を掲載した報告書の作成。

【各部の活動】

- 〔総務部〕会員数・会員の動静の把握と薄版名簿の作成・発行 諸会議のスムーズな開催運営
- 〔会計部〕事務所移動他、経費節減に向けた様々な方策の実施
- 〔広報部〕会報の年三回作成・発行 内容の質の維持
- 〔福利厚生部〕他部との連携による福利厚生に関わる諸情報の収集と正確な情報発信
- 〔生涯学習部〕会員研修会を自然編と文化編の二回に分けて実施
- 〔情報推進部〕ホームページの更新作業、運営・維持管理

令和八年度主要事業計画

【活動の重点】

- ① 役職定年者への働きかけによる新入会員増を中心とした会員増強の一層の推進。
- ② 各区市の学習支援員等の事例等をまとめた研究報告書の作成、研究助成費の獲得。
- ③ 本会の魅力を高めるために、支部間交流と会員研修会の一層の充実。

【各部の活動】

- 〔総務部〕会員数・会員の動静の把握と薄版名簿の作成・発行
- 〔会計部〕支出削減の一層の努力と更なる財政安定化の推進
- 〔広報部〕年三回発行に向けての編集・構成の工夫と努力
- 〔福利厚生部〕福利厚生に関わる諸情報の収集と正確な情報発信
- 〔生涯学習部〕第一回研修会「ヒマラヤの花々と人々の暮らし」と十一月十一日の第二回研修会の実施予定
- 〔情報推進部〕ホームページの更新作業、運営・維持管理
- （総務部担当副会長 赤坂寅夫）

予算検討委員会より

予算検討委員会

委員長 桐谷 澄男

来年度の会計業務も、会計部のお陰で無事続けられます。

これは、緊縮財政の中、皆川会計担当副会長を中心とした会計部の必死の努力の賜です。

収入が、年々減額の中、移転した本部事務所費用を百九十万円から七十五万円に削減できました。会長交渉力の賜で、我々は息を吹き返しました。

各部署で生まれた節約の八十万円については、後世のために特別会計に蓄えます。支部活動助成金の二百円や会長の努力が刺激となって、減額化に貢献したと考えます。

最後に、ただ減らすだけでなく、重要項目にはしっかりと配分することも忘れないように心掛けていきます。

教育研究を継続します

教育研究プロジェクトチーム

委員長 草野 一紀

令和七年度の研究報告書が完成し、公務員弘済会に提出することができました。皆様のご協力のおかげです。部数の関係で、いつも支部に一部しか配布できていないので、今後は、皆様に研究内容が伝わるよう工夫します。財政の安定化に助成金は欠かせないとの声が強く、研究を続けることになりました。今後もご協力をお願いいたします。

前年度の活動と本年度の課題

業務運営改善委員会

委員長 宇津木 順一

昨年度、令和七年度は、5回の会議を行い、本会が当面している課題等について検討しました。主な検討事項は、令和七年度版入会勧誘リーフレットの内容、クラブ助成金、支部助成金に関わる会則改正、個人情報取り扱い等の内容です。主な検討事項については会報でお伝えいたしました。

本年度、令和八年度は、「個人情報取り扱い」について更に検討し、本会としての考え方や方針を規程等として整理し、共通理解を図りたいと考えています。また、会長の本年度の方針等を踏まえたうえで、会則に関わる本会の課題等について検討したいと考えています。

会員増強プロジェクトチームの活動

会員増強プロジェクトチーム

委員長 三原 一浩

本委員会の主な活動は、各支部長様方が円滑に勧誘活動を進められるよう情報提供をすることです。その内容は、各校種の役職定年者や退職した後も本会未加入者等のデータを作成すること、また勧誘対象者への入会案内資料をまとめることです。

このように、本委員会は各校種の校・園長会のご協力を得て、会員増強に尽力される支部長の皆様と共に活動しています。

令和7年度 東京都退職校長会一般会計決算書

(自令和7年4月1日～至令和8年3月31日)

単位＝円

1	収入総額	6,075,039	(会費・繰越金・雑収入)
2	支出総額	5,874,037	
3	決算額	201,002	
4	基本積立金からの借入	1,440,440	
5	繰越額	1,641,442	

◎ 収入の部

単位＝円 △：収入は予算より増

款	項目	令和7年度予算額	令和7年度決算額	増 減	摘 要
①	年 度 会 費 (実質会費)	4,315,000 3,265,000	4,442,500 3,354,700	△127,500 △89,700	2,500円×1738名 1,300円×75名 未納者53(7)名 (2,500-200-400)×1,738+(1,300-200-400)×75
②	繰 越 金	580,593	580,593	0	
③	雑 収 入	400,000	1,051,946	△651,946	利子・広告掲載料 新年懇親会祝金等
	合 計	5,295,593	6,075,039	△779,446	
④	積立基本金より借入	1,500,000	1,440,440	59,560	積立基本金より借入金
	総 合 計	6,795,593	7,515,479	△719,886	

◎ 支出の部

単位＝円 △：支出は予算より増

款	項目	令和7年度予算額	令和7年度決算額	増 減	摘 要
会議費		420,000	187,138	232,862	
1	総 会 費	360,000	159,835	200,165	総会に関する諸費(会場費 記念品費 賞状代)
2	教育懇談会費	60,000	27,303	32,697	五校種教育懇談会 全連退教育懇談会 都庁幹部懇談会 他団体渉外費等
3	部 会 費	0	0	0	資料印刷 用紙・インク代
4	各種委員会費	0	0	0	各種委員会資料作成用紙インク代補助
事業費		1,949,000	1,652,734	296,266	
5	会員名簿発行費	20,000	0	20,000	会員名簿作成・発送費・通信費等
6	会 報 発 行 費	500,000	439,010	60,990	会報226～228号印刷費
7	生涯学習費	40,000	22,240	17,760	会員研修会会場費等・講師謝金・機器借用費
8	慶 弔 費	500,000	400,000	100,000	香料
9	渉 外 費	15,000	5,000	10,000	他機関との交渉・現職校長会連絡費等
10	クラブ補助費	64,000	42,000	22,000	クラブ事業の助成金
11	教育支援費	0	0	0	案内状作成・発送費・資料作成費
12	会員増強費	100,000	24,119	75,881	新会員入会に関する通信費 黒手帳費(リーフレット)
13	HP・インターネット関連費	150,000	189,365	△39,365	HP・インターネット関連費 zoom会議契約費
14	支部活動助成費	350,000	361,000	△11,000	支部助成・振替料等 ※200円×1805名
15	支部活動祝金	200,000	170,000	30,000	支部総会・周年行事等の祝金
16	島嶼活動助成	10,000	0	10,000	支部長会交通費一部負担
事務費		4,426,593	4,034,165	392,428	
17	事務用品費	80,000	84,846	△4,846	事務用品・消耗品当
18	備 品 費	0	0	0	事務機器等
19	事務局員行動費	480,000	480,000	0	本部事務局員行動費・事務補助員行動費
20	事 務 所 費	1,400,000	1,161,230	238,770	事務所借料・光熱費(6月より 家賃50000円 電気代10000円) 引っ越し料金 PC代
21	印 刷 費	70,000	88,000	△18,000	資料文書等印刷費
22	コ ピ ー 機 費	500,000	549,575	△49,575	コピー機・印刷機リース費 コピー費
23	通 信 費	300,000	169,341	130,659	通信連絡用諸費・会報等の送料
24	交 通 費	600,000	540,830	59,170	支部長・役員会・部会・事務局員等交通費半額
25	全連退分担金	700,000	689,600	10,400	全連退分担金 400円×1724名
26	事務所設置等積立金	0	0	0	事務所設置等積立
27	記念行事積立金	0	0	0	周年行事積立金
28	名簿発行積立金	20,000	20,000	0	名簿積立金(令和9年度作成)
29	関プロ積立金	100,000	100,000	0	R10年東京大会の積立金
30	諸 費	100,000	102,263	△2,263	関プロ群馬大会参加費・傷害保険費
31	雑 費	6,000	0	6,000	
32	予 備 費	70,593	48,480	22,113	教育研究PT(コピー用紙代 封筒・切手代 インク代)
	合 計	6,795,593	5,874,037	921,556	

令和7年度 特別会計決算書

1 事務所設置等積立金(積立基本金)	2 記念行事積立金
収 入	収 入
令和6年度繰越金 21,950,907	令和6年度繰越金 2,742,692
互助会寄付金 861,000	本年度積立金 0
普通・定期利息 21,984	利息 4,545
計 22,833,891	計 2,747,237
支 出	支 出
一般会計へ 1,440,000	
引き出し手数料 440	
計 1,440,440	計 0
次年度繰越金 21,393,451	次年度繰越金 2,747,237

3 会員名簿積立金	4 関プロ積立金
収 入	収 入
令和6年度繰越金 40,012	令和6年度繰越金 60,001
本年度積立金 20,000	本年度積立金 100,000
利息 70	利息 68
計 60,082	計 160,069
支 出	支 出
計 0	計 0
次年度繰越金 60,082	次年度繰越金 160,069

令和8年4月1日

東京都退職校長会 会長
〃 会計部長角田美枝子
中山 三夫

諸帳簿・証書等・関係資料と対照監査したところ、適正且つ正確に処理されていることを確認しました。

令和8年4月9日

監事・氏名・印

澤海 富保
山内 俊久
大澤 正子



東京都教育庁幹部との 教育懇談会

令和8年2月19日（木）、東京都教育庁内の会議室を会場に表記の懇談会がもたれました。当日はご多用の中、瀧田健二様（総務部デジタル企画担当課長）、島倉晋弥様（都立学校教育部都立高校改革推進担当課長）、福島正幸様（都立学校教育部特別支援教育企画調整担当課長）、藤田修史様（指導部主任指導主事）、鈴木輝様（指導部主任指導主事）、布施竜一様（人事課主任指導主事）、松永武志様（人事部勤務課長）、千葉かおり様（指導部企画推進担当課長）、小宮山詠美様（指導部主任指導主事）の方々が出席されました。

本会からは、角田会長以下、相談役2名、特別委員会委員長2名、副会長4名、部長4名、事務局長が参加しました。

事前に設定した「教師を取り巻く環境整備」「学校カスタマー・ハラスメント」について、「デジタルとリアルを組み合わせた新しい学び」について、「教育への寄与」「学校支援員の拡充」について「の三つのテーマに対して担当の方から丁寧な回答いただき、その後、懇談を行いました。

なお、東京都教育委員会からのテーマへの説明は次の通りです。

■教師を取り巻く環境整備

「学校カスタマー・ハラスメント対応」について

東京都教育庁人事部

勤務課長 松永 武志

東京都カスタマー・ハラスメント防止条例が施行されたことや、「過去5年間に通常の社会通念から疑問と感じる行動や行為を受けたことがある教職員」が22%にのぼること（令和7年4月都教育庁調査）などを受け、都教育委員会は、令和7年5月より「学校と家庭・地域とのより良好な関係づくりに係る有識者会議」を開催し有識者と議論を重ね、令和8年2月に「学校と家庭・地域とのより良好な関係づくりに係るガイドライン」を策定しました。

ガイドラインでは、学校が家庭・地域とより良好な関係づくりを進めるための対応方針や日頃からの取組の留意点について触れるとともに、保護者等から社会通念を超える言動等があった場合に、学校が取る具体的な行動について標準的な対応の手順を提示しています。

本ガイドラインは都立学校を対象としています。区市町村教育委員会へ参考送付するとともに、区市町村教育委員会でのガイドライン策定を支援していきます。

■「デジタルとリアルを組み合わせた新しい学び」について

東京都教育庁都立学校教育部

都立高校改革推進担当課長

島倉 晋弥

予測困難な世界や急速なデジタル技術の進化等を踏まえ、高等学校では、将来の東京を担う子供たちが、社会や経済の変化に柔軟に対応できるよう、主体的に学ぶ姿勢を身に付け、興味関心に応じて創造的・協働的に学びを深めることが重要です。

デジタル教材を取り入れた学習指導など授業の枠内の議論にとどまらず、学ぶ時間や場所、学び方、学習内容や指導者、評価の在り方まで含めて、学校の学習環境全体を再構築し、生徒一人一人の興味関心や特性に応じた学びを実現することを目指しています。

デジタルにより個別最適な学習機会を広げつつ、学校というリアルな場での人との関わりから、体験的に学習する協働的な学びも重視し、その双方を循環させる点に特徴があります。さらに、LMS（学習管理システム）を活用して学習履歴を可視化し、教員が伴走しながら学びを支援することで、生徒自身が学びを選択・調整できるようにし、主体的に学び続ける力の育成を図っていきます。

■教育への寄与

「学校支援員の拡充」について

東京都教育庁人事部

人事計画課長 布施 竜一

冒頭、退職校長会の皆様には、都教育委員会が進める様々な非常勤の職に携わっていただいていることに感謝申し上げます。

学校は、正規の教職員だけではなく、多くの非常勤の皆様には、多くの非常勤の皆様には、支援していただき成り立っています。都教育委員会では、現在の教育課題を踏まえながら、様々な非常勤の職を設置していますが、職により、都内公立学校全校を対象にしているものや一定の線引きの中で対象校を絞っているものがあります。

それぞれの職については、事業効果などを見極めながら規模等を定めておりますが、職によつては、人材の確保に苦慮している自治体もあります。各自自治体の応募状況がわかりにくい点についてですが、一部の職については、都教育委員会のホームページで、各自自治体の応募状況が確認できるようにしていますので、そちらも参考にしてください。

支部だより

魅力ある活動は、

魅力ある生き方から

千葉南部支部 宮内太一

校長会の存在意義は何か！
我が支部は、「親睦と互助」「生涯学習の充実」「居住する地域社会の社会貢献」を志向している。

その活動は、「教育懇談会」と「ブラトラ一日研修会」である。会員の社会貢献の交換会で、会員の学びを深め合い、楽しさや喜びを共有する内容である。その一例を上げると、

○「科学の楽しさを伝える」

Ⅱ江戸川区科学教育センターで、32年間指導してⅡ 片柳文男

○「どうする家康！」

Ⅱ徳川家の菩提寺を巡るⅡ

赤坂寅夫

がある。

幼・小・中・高・特の校長を経験した会員が、それぞれの立場で、自分の人生を自分らしく生き、自分の価値観とか推しを大事にしながらかう合う場となっている。

「わが人生に悔いなし」の考えのもと元校長としての見識と誇りをもって、「生涯学習と地域貢献」に関わることで、魅力ある生き方に繋がり、我が支部を強く支えている。

新入会員の声

よろしく願いいたします

墨田支部 朝日滋也

六年前、全国一斉休校措置中の令和二年三月に定年を迎え、再任用校長として五年間勤めさせていただきました。「現職中は難しい」とお誘いを断り続けてきましたが、昨年晴れて校長職を卒業し、本会にお世話になることといたしました。

墨田区には、指導主事として五年、都立墨田特別支援学校の校長として三年、そして今も墨田区教育センターに務めさせていただいています。

本会で役職を務められていらっしゃるいました大南英明先生は、墨田区の特別支援教育の推進に大きな御功績を残されています。卒業生が学ぶ青年学級「すみだ教室」も立ち上げに関与され、今もなお、六十余年の歴史を刻み続けています。

御縁ある墨田支部への入会、よろしく願いいたします。



ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応



0120-849-544

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ

東京都民互助会 平安祭典

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL03-3396-7231 FAX03-3395-8874

ホームページ



令和8年 春の叙勲 受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。（敬称略）

瑞宝双光章（7名）	松本 實（葛 飾）	町田起美恵（千葉西部）
加藤 正克（台 東）	宮城島勝史（江戸川）	吉川 正弘（神奈川）
面田 博子（葛 飾）	生田 怜明（西多摩）	

高齢者叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。（敬称略）
（令和8年4月22日現在、本部に届け出があった方々）

瑞宝双光章（11名）	石井 功樹（杉 並）	峯岸 正則（西多摩）
佐藤 忠三（千代田・中央）	小林 文子（町 田）	黒川 貞夫（千葉北部）
河原 敏子（墨 田）	岡野 仁司（北多摩北部）	山村 恵子（神奈川）
林 忠義（墨 田）	広田 春彦（西多摩）	本郷 浩之（武蔵野・三鷹）

（福利厚生部長 遠藤 好俊）

あんしん むすぶ
教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

突然起こる自然災害。
一人ひとりが日常的に防災を
意識することが大切です。

教職員共済のホームページでは、
防災情報や、学校での避難訓練に
役立つコラムを掲載しています。
ぜひご利用ください！



災害に備える

それでも防ぎきれない
想定外の自然災害や火災には、
教職員共済の火災共済と
自然災害共済で備えましょう。

あなたの大切な住まいと
家財をまもるために。

火災共済
住宅災害等給付金付火災共済
自然災害共済

まずはお気軽に資料請求を
家財契約のみでも
ご契約いただけます。



厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東京都事業所

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 5 階

TEL : 03-3230-0818

(令和8年4月6日 届出現在)

物故者

謹んでご逝去を悼み
ご冥福をお祈り申し上げます



氏名	年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
角谷 昭典	7・7・23	品川	小	96	6
森田 厚	7・8・1	世田谷	小	86	12
塚本 俊和	7・11・4	世田谷	小	98	41
菅原 昌二	7・11・16	足立	高	88	25
中野 昂	7・12・15	杉並	盲	98	16
根本 和子	7・12・15	埼玉県	小	97	64
小林 一雄	7・12・26	世田谷	小	92	44
佐久間 潔	8・1・6	南	中	93	38
吉田 一夫	8・1・8	目黒	小	94	4
佐々木 曉雄	8・1・9	江戸川	中	86	28
今井 孝	8・1・15	南	小	91	36
鈴木 光夫	8・1・17	練馬	小	100	22

酒井 昭夫	8・2・3	神奈川県	中	98	69
石田 泰照	8・2・7	板橋	小	93	20
高松 正志	8・2・10	三宅島	中	71	58
高橋 利夫	8・2・20	江東	小	75	5
野村 錦吾	8・3・4	太田	中	98	9
眞弓 矢	8・3・11	世田谷	小	96	41
笹本 裕	8・3・17	江戸川	小	81	28
河又 貞雄	8・3・22	埼玉県	中	88	67
中溝 陽子	8・3・26	世田谷	小	103	11
藤島 正美	8・3・27	埼玉県	中	98	63
浅見 扶次男	8・4・20	世田谷	小	90	51

(福利厚生部長 遠藤 好俊)

令和八年度 第二回会員研修会

日時…令和8年11月11日(水)

午後開始予定

場所…江戸東京博物館

墨田区横網1-4-1

詳細は後日連絡いたします。

予定に組み入れてください。

応募コーナー

俳句

水ぬるむ川に童の声高く
わらべ

花水木咲き新しき庭生まる

雑草に呼ばれる春の日々となり

宮城県仙台市 岡島光雄

写真俳句

冬ざれの
小枝も強く
平和の樹



(戦後80年浅草寺の大銀杏
二〇二五年十二月)

春うらら

スエコザサあり

牧野像



(壽衛夫人の名にちなむ命名「スエコザサ」に包まれた牧野像。牧野記念庭園にて 二〇二六年二月)

武蔵野・三鷹支部 梅津通郎

中学校英語スピーキングテスト (ESATJ) について

東京都教育庁グローバル人材育成部 国際教育推進担当課長 堀内 明

都教育委員会は、学習指導要領の目標への到達度を把握するアチーブメントテストとしてESATJを実施しています。令和八年度は十一月二十二日(日)が本試験日の予定であり、都内公立中学校三年生を中心に約七万人が受験する見込みです。この本試験日の各受験会場での運営スタッフ(監督補助員等)に御協力できる先生方を募っております。詳細は、七月に御案内します。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

世界情勢や気候変動の激しさに落ち着かない日々ですが、平和や安定を願い続けたいと思います。ここに本部と会員を繋ぐ会報二二九号をお届けいたします。

今号は、去る五月十八日に開催されました定期総会の報告を中心に来賓の言葉や、二月に行われた東京都教育庁幹部との教育懇談会の報告など、豊かな内容となりました。

大きな繋がりとともに、支部だよりや応募コーナーなど身近な会員の声にも励まされます。より多くの皆様の思いを心よりお待ちしております。(邑上裕子)